

<領域:こころとからだのしくみ>

【発達と老化の理解】

問題69 エリクソン(Erikson, E.)の発達段階説に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 誕生から1歳頃までは、自分の行動のコントロールを身につける段階である。
- 2 3歳頃から6歳頃までは、自発的行動を通して主体性の感覚を学ぶ段階である。
- 3 12歳頃から20歳頃までは、勤勉性を身につける段階である。
- 4 20歳頃から30歳頃までは、心身共に自分らしさを身につける段階である。
- 5 30歳頃から60歳頃までは、社会全体や他者への信頼感を持つ段階である。

問題70 加齢に伴う筋肉の変化に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 70歳代までは、筋肉量は維持される。
- 2 タンパク質をとることは、筋肉量の維持に有効である。
- 3 高齢期になってからの運動は、筋肉量の増加には無効である。
- 4 筋肉量の減少の主要な原因は、悪性腫瘍の合併である。
- 5 筋肉量の減少は、下肢よりも上肢の方が顕著である。

問題71 Aさん(70歳、男性)は、65歳で定年退職した後、学生時代の旧友のほか、地域のボランティアサークルで知り合った新しい仲間と親交を深めてきた。しかし、サークルでトラブルが起きるようになって、1、2年前からはサークルへの参加が徐々に減り、安心できる旧友とばかり頻繁につきあうようになった。Aさん自身はこの生活に満足している。

Aさんの生活への適応状況を説明する理論として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 活動理論
- 2 離脱理論
- 3 社会情動的選択理論
- 4 愛着理論
- 5 心の理論

問題72 加齢の影響を強く受ける記憶として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 個人の生活の中で生じる出来事や体験に関する記憶
- 2 学習や経験によって獲得された知識の記憶
- 3 スポーツなど、自分の体で覚える記憶
- 4 過去の社会的事件など、自分の体験とは直接関わらない記憶
- 5 人の顔や風景など、自覚せずに残されている記憶

問題73 めまいや立ちくらみが時々ある高齢者への介護福祉職の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 勢いをつけて立ち上がることを勧める。
- 2 首を左右に振る体操をすることを勧める。
- 3 降圧薬の服用を勧める。
- 4 抗不安薬の服用を勧める。
- 5 転んでもけがをしないように部屋を片づけることを勧める。

問題74 Bさん(82歳, 男性)は, 脳梗塞の既往があり, 右片麻痺がある。以前から食事にむせることがあった。半年前には, 肺炎で入院したこともある。昨日から元気がなく, 食欲もなくて普段の半分も食べられない。呼吸数は1分間に24回, 体温は37.4℃だった。

Bさんに起こっていることとして, 最も可能性の高いものを1つ選びなさい。

- 1 脳梗塞の再発
- 2 急性腸炎
- 3 感冒
- 4 誤嚥性肺炎
- 5 胃潰瘍

問題75 変形性膝関節症と診断された高齢者への介護福祉職の助言として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 膝を冷やす
- 2 正座をする
- 3 杖を使う
- 4 体重を増やす
- 5 階段の昇り降りの運動をする

問題76 在宅医療に関する次の記述のうち, 正しいものを1つ選びなさい。

- 1 主治医は, 地域医療支援病院の医師でなければならない。
- 2 保健所は, 在宅医療を受ける患者の支援を行わない。
- 3 在宅での静脈注射は, 医師でなければ実施できない。
- 4 在宅での悪性腫瘍患者に対する緩和ケアは, 保険診療の対象外である。
- 5 在宅療養支援診療所は, 24時間往診が可能な体制を確保しなければならない。

【認知症の理解】

問題77 回想法に関する次の記述のうち, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 記憶力の改善が最も期待できるのは, 中等度の認知症の人である。
- 2 認知症の人に豊かな情動をもたらすことが期待できる。
- 3 過去の苦痛や困難な体験を思い出す手がかりを準備すると効果的である。
- 4 毎回異なる場所で行うと効果的である。
- 5 回想法に参加した家族介護者は, 発症前を思い出してつらくなることが多い。

問題78 厚生労働省が, 2012年(平成24年)8月に公表した「認知症高齢者数について」における, 「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の認知症高齢者の居場所別内訳(2010年(平成22年)9月末現在)で, 人数が最も多い居場所を1つ選びなさい。

- 1 居宅
- 2 介護老人福祉施設
- 3 介護老人保健施設・介護療養型医療施設
- 4 グループホーム
- 5 医療機関

問題79 Cさん(89歳, 女性)はアルツハイマー型認知症で, 1年前から料理の手順を間違えたり, 家計の管理や買物が難しい状態であった。1か月前から大声をあげるようになった。季節に合った衣服を選べなくなったが, 家族が準備すれば適切に着ることはできる。排泄は自立している。

Cさんのアルツハイマー型認知症の Functional Assessment Staging (FAST) の分類として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 年齢相応
- 2 境界状態
- 3 軽度
- 4 中等度
- 5 やや高度

問題80 Dさん(80歳, 男性)は一人暮らしで, 生活は自立していた。毎朝近所の公園でラジオ体操に参加していたが, 2か月ほど前から, 物忘れとぼうつとする様子が見られるようになった。また, 歩行が不安定となり, 最近では尿意を我慢できず失禁がある。

Dさんの状態として, 最も可能性の高いものを1つ選びなさい。

- 1 軽度認知障害
- 2 アルツハイマー型認知症
- 3 正常圧水頭症
- 4 前頭側頭型認知症
- 5 血管性認知症

問題81 認知症の原因となる疾患の特徴として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 アルツハイマー型認知症では, 早期から尿失禁が認められる。
- 2 アルツハイマー型認知症では, 巣症状は見られない。
- 3 レビー小体型認知症では, 人格が大きく変化する。
- 4 レビー小体型認知症では, 運動機能障害は見られない。
- 5 クロイツフェルト・ヤコブ病では, 進行が速く, 1年以内の死亡例も多い。

問題82 外科的手術で治療が可能な認知症として, 正しいものを1つ選びなさい。

- 1 血管性認知症
- 2 クロイツフェルト・ヤコブ病
- 3 前頭側頭型認知症
- 4 レビー小体型認知症
- 5 慢性硬膜下血腫

問題83 行動・心理症状(BPSD)に関する次の記述のうち, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 徘徊は, 認知症であれば誰にでも起こる。
- 2 もの盗られ妄想は, 記憶障害とは関係がない。
- 3 幻視に関して, 本人の訴えの内容ははっきりしない。
- 4 興奮は, ケアの方法によって生じることがある。
- 5 混乱は, 重度の認知症の人には見られない。

問題84 Eさん(88歳, 女性)は, 血管性認知症で左片麻痺がある。穏やかな性格である。認知症対応型共同生活介護(グループホーム)に入居し, グループホームでの役目として, 食事前の挨拶を担当している。しかし, 夏の暑さが続いたとき, 食事前の挨拶の後「こんなことはやらせないで」と理由もなく急に泣きだすことがあった。介護福祉職が受容的な態度で接していると, Eさんは笑顔で「ご苦労様」と介護福祉職に声をかけるようになった。

このようなEさんについて考えられることとして, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 睡眠不足による感情の変化
- 2 認知症の急激な進行
- 3 感情失禁の症状
- 4 暑さによる中核症状の悪化
- 5 職員の対応に対する怒り

問題85 初期の認知症で, 家賃の支払を忘れて, 家主から督促されることが多くなった人に対する支援者として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 民生委員
- 2 訪問介護員(ホームヘルパー)
- 3 訪問看護師
- 4 日常生活自立支援事業の専門員
- 5 通所介護(デイサービス)の介護福祉職

問題86 在職中に若年性認知症になった人とその家族の支援に関する次の記述のうち, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 支援の主な対象は, 介護負担が集中する子ども世代である。
- 2 高齢者の認知症と対応の違いはないことを家族に説明する。
- 3 雇用保険制度や障害福祉サービス等を組み合わせて利用できるように支援する。
- 4 本人の年齢に関係なく, 初回の面談で介護保険の利用を勧める。
- 5 本人が退職して治療に専念できるように支援する。

【障害の理解】

問題87 障害者の権利に関する条約で, 国際条約上初めて取り上げられた概念として, 正しいものを1つ選びなさい。

- 1 完全参加と平等
- 2 ノーマライゼーション
- 3 障害の予防
- 4 共生社会
- 5 合理的配慮

問題88 以下の疾患や状態のうち, 図で示した装具を使用するものとして, 正しいものを1つ選びなさい。



- 1 閉塞性動脈硬化
- 2 腓骨神経麻痺
- 3 変形性膝関節症
- 4 パーキンソン病
- 5 下腿切断

問題89 高次脳機能障害の注意障害に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 同時に2つ以上のことに気配りできない。
- 2 突然興奮したり、怒りだしたりする。
- 3 日常生活を計画して実行できない。
- 4 物の置き場所を忘れる。
- 5 1つのことにこだわって他のことができない。

問題90 ダウン症候群の症状として、最も頻度の高いものを1つ選びなさい。

- 1 難聴
- 2 筋緊張の亢進
- 3 高次脳機能障害
- 4 片麻痺
- 5 腎障害

問題91 自閉症スペクトラム障害のある人への対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 こだわり行動に対しては、介入しない。
- 2 不適切な行動をとっているときは、強く制止する。
- 3 予定の変更があるときは、メモや絵を使って、予告する。
- 4 情報を伝えるときには、一度に多くの情報を提供する。
- 5 パニックを引き起こす事柄を克服できるような訓練をする。

問題92 嚥下障害を引き起こす難病として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 潰瘍性大腸炎
- 2 悪性関節リウマチ
- 3 筋萎縮性側索硬化症
- 4 クローン病
- 5 広範脊柱管狭窄症

問題93 すくみ足の症状が見られる疾患として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 パーキンソン病
- 2 脊髄小脳変性症
- 3 デュシェンヌ型筋ジストロフィー症
- 4 脳性麻痺
- 5 脊髄損傷

問題94 呼吸機能障害のある人が日常生活で工夫すべきこととして、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 かぶり式の上着を着る。
- 2 湯船には肩までつかる。
- 3 食事の回数を減らす。
- 4 洋式便器を使用する。
- 5 すばやく歩く。

問題95 「障害者総合支援法」に基づく地域生活支援事業の内容として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 自己判断能力が制限されている人の行動を支援する。
- 2 常に介護が必要な人に、創作的活動の機会を提供する。
- 3 就労を希望する人に、必要な訓練を行う。
- 4 円滑に外出できるように、移動を支援する。
- 5 自立した日常生活ができるように、必要な訓練を行う。

問題96 Fさん(47歳, 男性)は, 重度の知的障害(障害支援区分3)があり, 母親の世話を受けながら自宅で暮らしている。母親が高齢になったこともあって, Fさんは, 障害福祉サービスを利用して, 介護福祉職と一緒に病院へ通院することになった。

Fさんが利用する障害福祉サービスとして, 正しいものを1つ選びなさい。

- 1 行動援護
- 2 同行援護
- 3 生活介護
- 4 療養介護
- 5 自立訓練

【こころとからだのしくみ】

問題97 Gさん(84歳, 女性)は, 訪問介護(ホームヘルプサービス)を受けながら自宅で一人で生活していた。2か月前, 在宅中に大雨による土砂崩れで自宅の半分が埋まってしまったので, 介護老人保健施設に入所した。入所後のGさんはイライラすることが多くなり, 入眠障害が見られるようになった。また, 夜間に突然覚醒し, 大声で介護福祉職を呼ぶことがたびたびあった。

現在のGさんの状態を表す用語として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 退行
- 2 見当識障害
- 3 フラストレーション
- 4 アルツハイマー型認知症
- 5 心的外傷後ストレス障害

問題98 マズローの欲求階層説における最上層の欲求を表現する発言として, 適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「おなかがすいたので食事をしたい」
- 2 「会社で上司から認められたい」
- 3 「心の中を打ち明けられる親友がほしい」
- 4 「平和な社会をつくりたい」
- 5 「家族の待つ家に帰りたい」

問題99 口腔の清潔が保てなくなる原因として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 過食
- 2 口内炎
- 3 唾液の増加
- 4 歯垢の除去
- 5 咳反射の亢進

問題100 「日常生活動作(ADL)」に分類されるものとして, 正しいものを1つ選びなさい。

- 1 買物
- 2 料理
- 3 洗濯
- 4 乗り物利用
- 5 入浴

問題101 廃用症候群で起こる可能性のある病態とその対策の組合わせとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- | | |
|-----------|------|
| 1 筋萎縮 | 日光浴 |
| 2 関節拘縮 | 運動制限 |
| 3 深部静脈血栓症 | 離床 |
| 4 褥瘡 | 安静 |
| 5 せん妄 | 入院 |

問題102 1g 当たりのエネルギー発生量が最も多い栄養素として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 たんぱく質
- 2 糖質
- 3 脂質
- 4 ビタミン
- 5 無機質(ミネラル)

問題103 脱水に伴う症状として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 浮腫
- 2 活動性の低下
- 3 低体温
- 4 多尿
- 5 皮膚の湿潤

問題104 38～41℃の湯温での入浴が身体に与える影響として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 血圧の上昇
- 2 心拍数の増加
- 3 膀胱の弛緩
- 4 消化機能の亢進
- 5 筋緊張の亢進

問題105 小腸の一部として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 盲腸
- 2 空腸
- 3 S状結腸
- 4 上行結腸
- 5 直腸

問題106 尿意を感じて我慢できずに失禁してしまう排尿障害として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 切迫性尿失禁
- 2 腹圧性尿失禁
- 3 溢流性尿失禁
- 4 反射性尿失禁
- 5 完全尿失禁

問題107 睡眠を促進するホルモンとして、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 バソプレッシン
- 2 エストロゲン
- 3 メラトニン
- 4 インスリン
- 5 コルチゾール

問題108 Hさん(92歳, 女性)は, 老衰が進行して寝たきり状態にある。ここ1か月間経口摂取はごく少量で著しくやせて, 肺炎も併発している。かかりつけの医師から家族に対して予後は1週間以内だろうという説明があり, このまま自宅で看取る方針が家族との間で合意された。

介護福祉職がサービスを提供しているとき, Hさんが急変した場合に第一に相談すべき連絡先として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 かかりつけ医
- 2 警察
- 3 消防署
- 4 介護支援専門員(ケアマネジャー)
- 5 サービス提供責任者

<総合問題>

【総合問題】

(総合問題1)

次の事例を読んで, 問題109から問題111までについて答えなさい。

〔事 例〕

Jさん(56歳, 男性)は, 脳梗塞の後遺症で, 左片麻痺と高次脳機能障害があるために, 障害者支援施設に入所して, 車いすでの生活をしている。Jさんは, 現在の施設に作業活動がないことを不満に思っていて, たびたび, 妻に「職業訓練や収入を得ることが目的ではなく, のんびりと楽しみながら作業がしたい」と話している。妻はどうしたらよいか分からず介護福祉職に相談した。介護福祉職は, Jさんが利用できるプログラムについて検討した。

その結果, Jさんに合った創作的活動を取り入れたプログラムを実施することになった。

問題109 Jさんが利用している日中のサービスとして, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 重度訪問介護
- 2 就労移行支援
- 3 居宅介護
- 4 就労継続支援A型
- 5 生活介護

問題110 Jさんは, 創作的活動に参加したが, その作業手順が複雑になると, 何か, らやればよいのか分からなくなって, 計画的に作業を進めることができない。

作業をしているときのJさんの状態として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 遂行機能障害
- 2 半側空間無視
- 3 構音障害
- 4 知的障害
- 5 記憶障害

問題111 Jさんは昼食の時に上着を汚したので、居室で着替えようとしていた。Jさんは、上着を手にしたまま、どうすればよいのか分からなくなった。

このときのJさんへの介護福祉職の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 着替えていないことを注意する。
- 2 着替えるまで待つ。
- 3 着替えができない理由を聞く。
- 4 着替えの動作のきっかけをつくる。
- 5 着替えの手順を細かく指示する。

(総合問題2)

次の事例を読んで、問題112から問題114までについて答えなさい。

〔事 例〕

K君(7歳, 男性)は、3歳の時に不随意運動型(アトーゼ型)脳性麻痺と診断された。頸部や体幹をねじらせたり、反らせたり、上肢が伸展する運動が自分の意志とは関係なく起こってしまう不随意運動型特有の症状が現れていた。時々、筋肉の緊張が強くなり、体幹や上肢の不随意運動が大きくなることもあった。知的障害は見られず、車いすを使って、近所の小学校へ通学していた。登校・下校のときだけ母親が付き添って、教室内では車いすを何とか自分で操作して過ごしていた。言葉は努力性の発語で、聞き取りにくく、同級生と意思疎通が困難なことがしばしばあったが、慣れ親しんだ友達との会話は可能であった。

問題112 K君の状態に適した車いすとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 普通型車いす
- 2 電動普通型車いす
- 3 片手駆動式普通型車いす
- 4 手動リフト式普通型車いす
- 5 リクライニング・ティルト式普通型車いす

問題113 K君の小学校の夏休みが近づいた。母親は夏休み中にK君が人との交流を持てる場所がないか、K君が幼少の時から介護方法について相談していた介護福祉士であるL相談支援専門員に相談した。

L相談支援専門員が提案するサービスとして、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 移動支援事業
- 2 福祉型障害児入所施設
- 3 保育所等訪問支援事業
- 4 放課後等デイサービス
- 5 医療型障害児入所施設

問題114 K君は2年生になった。4月にクラス替えて、新しい同級生が多くなり、K君の言葉が分からないという理由で関係がうまくいかなくなった。そのため、K君の筋肉の緊張は今までよりも強くなり、不随意運動も大きくなった。給食の時に食べ物をうまく口に運べなくて、担任の先生が介助する場面が増えてきた。担任の先生から、この状況を聞いた母親は心配になって、K君の学校での食事について、L相談支援専門員に相談をした。

L相談支援専門員の助言として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 クラスの同級生と会話をしながら食事をする。
- 2 自助具を使用して自力で食べる。
- 3 リラックスできる環境を作って、自力で食事ができるように支援する。
- 4 途中まで自力で食べてもらって、その後は介助する。
- 5 仲の良い友達を選んで、食事介助をしてもらう。

(総合問題3)

次の事例を読んで、問題115から問題117までについて答えなさい。

〔事 例〕

Mさん(71歳、女性)は、仕事を持つ息子と二人で生活している。最近、鍋を焦がすことがあったり、買物をして家に帰れなくなったりすることがあった。心配した息子が受診させたところ、アルツハイマー型認知症と診断された。要介護認定で要介護1となり、訪問介護(ホームヘルプサービス)を利用することになった。

Mさんは、訪問介護員(ホームヘルパー)と息子以外の人との接触はなく、テレビの前で過ごしていることが多い。心配した息子は、通所介護(デイサービス)を勧めたが、一人で通うことが不安で、利用を拒んでいた。このままだと認知症が悪化するのではないかと息子の不安が大きくなっていった。

問題115 息子は、Mさんが少しでも多く外出して、人と話すような機会を設けたいと考えて、訪問介護員(ホームヘルパー)に相談した。

次のうち、Mさんが息子と一緒に利用できるものとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 認知症カフェ
- 2 生活支援ハウス
- 3 地域活動支援センター
- 4 通所リハビリテーション
- 5 就労継続支援B型

問題116 Mさんは、訪問介護員(ホームヘルパー)と一緒に調理していたが、最近、途中で動作が止まってしまうことがあった。

調理の途中で、動作が止まってしまうMさんへの支援として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 本人が調理動作を行うまで待つ。
- 2 本人に代わって調理を行う。
- 3 ジェスチャーを使って調理動作のヒントを出す。
- 4 調理動作が楽にできる自助具を用意する。
- 5 調理動作の手順書を渡して覚えてもらう。

問題117 息子は、Mさんへの適切な支援方法について訪問介護員(ホームヘルパー)に相談した。

息子に対する訪問介護員(ホームヘルパー)の助言として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 Mさんを認知症対応型共同生活介護(グループホーム)へ入居させるように勧める。
- 2 Mさんに買物をさせないようにする。
- 3 Mさんと一緒にテレビを見るように勧める。
- 4 Mさんが失敗したらそのたびに指摘する。
- 5 Mさんのできることを見つけて、一緒に行くように勧める。

(総合問題4)

次の事例を読んで、問題118から問題120までについて答えなさい。

〔事 例〕

Aさん(70歳、女性)は、20年前に2型糖尿病を発症して、8年前から血糖値の自己測定とインスリンの自己注射を朝食前に行っている。4年前から変形性膝関節症が悪化して車いすの生活となり、自宅での生活が少しずつ困難になった。要介護3と認定されて、2年前に介護老人福祉施設に入所した。入所後も、血糖値の自己測定とインスリンの自己注射は介護福祉職の見守りのもとに行っていて、空腹時血糖値は120~150mg/dlでコントロールされていた。

ある日の夜中に数回にわたって下痢便が見られ、起床時には嘔吐し、腹痛と発熱が見られた。

問題118 Aさんに確認すると、2日前に知人と外出して貝を生で食べたことが分かった。その後も嘔吐、腹痛が止まらないので、ノロウイルスの感染が疑われた。
原因が分かるまでの間、施設内感染の対策で、Aさんの吐物を拭き取るときに用いるものとして、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 むるま湯
- 2 消毒用エタノール溶液
- 3 ベンザルコニウム塩化物溶液
- 4 次亜塩素酸ナトリウム溶液
- 5 クロルヘキシジジングルコン酸塩溶液

問題119 朝食前に介護福祉職がAさんの様子を観察すると、冷や汗、動悸、めまいなどの症状はなく、血糖値は130 mg/dlであった。Aさんは、嘔気、腹痛があり食欲がないと訴えた。
看護職に報告するまでの間に、介護福祉職がAさんに説明する内容として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 インスリンの量を増やして、自己注射をする。
- 2 インスリンの量を減らして、自己注射をする。
- 3 インスリンの自己注射をして、朝食を食べる。
- 4 インスリンの自己注射をしないで、朝食を食べる。
- 5 インスリンの自己注射をしないで、朝食を食べない。

問題120 Aさんの症状は、治療を受けて1週間ほどで回復した。しかし、その後、ぼんやりとした表情で過ごすことが多くなり、何事にもやる気がない様子で、「つらいから死にたい」と口にすることが多くなった。
Aさんの訴えに対する介護福祉職の応答として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「つらいことは考えない方がいいですね」
- 2 「死にたいぐらい、つらいですね」
- 3 「死にたいと言うと、つらい気持ちが強くなりますね」
- 4 「死にたいと言うと、周りの人もつらくなりますね」
- 5 「つらいことよりも楽しいことを考えるといいですね」